

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業大学校費

事業名 農業機械整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業大学校 総務課 電話番号：0574-62-1226

E-mail：c24405@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,918 千円 (前年度予算額： 1,968 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,968	0	0	0	0	0	0	0	1,968
要求額	7,918	0	0	0	0	0	0	0	7,918
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

学生のプロジェク学習、農場管理に使用する農業機械が老朽化しているため、備品の更新を行う。

(2) 事業内容

①チップーシュレッダの更新

果樹専攻での実習作業（プロジェクト学習）において、桃、梨、柿の剪定作業で排出により処分に困る大量の剪定枝を処分するため、チップーシュレッダー（剪定枝破砕機）を使用し、減容化、堆肥化を図っている。

配置されているチップーシュレッダーは平成16年度の導入以降、21年が経過し経年劣化が進み、交換部品のメーカー保管期限が経過しているため、部品交換による修繕は困難な状態であることから早急に更新する必要がある。

◎希望購入機種：チップーシュレッダー（ゼノアSR3100） 1 台 4,343千円

現行機種：チップーシュレッダー（小松ゼノアSR200）

※平成16年度導入、金額2,373,000円、21年経過 耐用年数5年

②スキッドステアローダーの更新

畜産専攻での実習作業において、飼養牛の排泄物の収集や運搬、堆肥舎内での堆肥の移動や積み直し、堆肥散布機へ積載をスキッドステアローダーを使用して作業を実施。

配置されているスキッドステアローダーは令和元年度の導入以降、令和6年度から深刻な故障（1 ステアリングレバーが故障しており、手を離すと自動的に前進。2 シートが故障し本来の乗員の身長に応じてペダルまでの距離を調整する役割が機能しない。）が発生しており、事故に繋がる危険性が高く、早急に更新する必要がある。

◎希望購入機種：スキッドステアローダー（TCM705-2） 1 台 3,575千円

現行機種：スキッドステアローダー（TCM705-2）

※令和元年度導入、金額2,592,000円、7年経過 耐用年数7年

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	7,918	チップーシュレッダー、スキッドステアローダー
合計	7,918	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
3 地域にあふれる魅力と活力づくり
(3) 農林畜水産業の活性化
①農林畜水産業を支える人材の育成・確保
- ・「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」

(2) 国・他県の状況

- ・他県においても必要に応じて農業機械を更新している。

(3) 後年度の財政負担

- ・機械の耐用年数等に併せて今後も定期的に更新をしていく予定。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・県が実施

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

農業大学校における新たなカリキュラムの実施等を通じ自家就農・雇用就農で新たな担い手を目指す学生の増加を図り、ひいては県の新規就農者の育成確保に資する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	R6達成率
①入学者数	28人	27人/30人	30人	30人	30人	90%
②卒業者数	25人 (H30入学者)	20人/30人 (R5入学者)	26人 (R6入 学者)	27人 (R7入 学者)	30人	66%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>農業改良助長法に基づき、新規就農者の育成・農業技術者の育成に向け、教育計画に基づく講義や農業実習等の実践教育を実施した。</p> <p>なお、卒業生21人は、県内に15人が就農し、農業団体、農業系企業に3人が就職した。（県外への就農就職等は6人）</p> <p>指標② 目標： 30人 実績： 21人 達成率： 70 %</p>
令和5年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>農業改良助長法に基づき、新規就農者の育成・農業技術者の育成に向け、教育計画に基づく講義や農業実習等の実践教育を実施した。</p> <p>なお、卒業生25人は、県内に19人が就農し、農業団体、農業系企業に5人が就職した。（県外への就農就職等は6人）</p> <p>指標② 目標： 30人 実績： 25人 達成率： 83 %</p>
令和6年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>農業改良助長法に基づき、新規就農者の育成・農業技術者の育成に向け、教育計画に基づく講義や農業実習等の実践教育を実施した。</p> <p>なお、卒業生20人は、県内に2人が就農し、農業団体、農業系企業に4人が就職した。（県外への就農就職等は11人）</p> <p>指標② 目標： 30人 実績： 20人 達成率： 66 %</p>

